

## (仮称) 土浦市立上大津地区統合小学校開校準備協議会 (第2回) 質疑回答

No.	意見	回答
1	配布資料を開催通知と同時に事前配布してほしい。	次回以降は事前配布を予定いたします。
2	質問に対して分かりやすく明確な回答をしてほしい。	可能な限り明確な回答に努めてまいります。
3	施設の複合・集約化により、施設総量の30%削減目標とあるが、上大津公民館の複合に合わせて上大津支所を統合しないのか？ 複合だけでは縮減とまらないのでは？	上大津支所については、次年度以降に個別計画を策定する予定です。 公民館と複合化することで、共有可能となる部分が生じるため、縮減されると認識しております。
4	保有施設とは？上大津公民館のことですか？ (資料1 P.7)	公共施設等総合管理計画を一部抜粋して掲載しておりますので、上大津公民館に限ったものではなく、市が保有している施設を指します。
5	上大津公民館の在り方について、新しい小学校と複合化に伴う課題に対する対応は？	課題については、先進事例での解決状況も踏まえて、学校及び公民館運営委員等と検討してまいります。
6	配置ゾーニングは、誰が計画しているのでしょうか？施設一体型にしか見えません。このように隣接して施設分離型をうたっている小中一貫校が他にあれば教えていただきたい。	外部の有識者等の意見を踏まえて、教育委員会で計画しております。 土浦第五中学校は、上大津地区統合小学校及び神立小学校との小中一貫校となることから施設分離型となります。 他自治体で隣接分離型の事例がございますので、調査のうえ、今後の会議の中で紹介させていただきます。
7	地区回覧で回ってきた「選定箇所位置図」と協議会で配布された配置ゾーニングの敷地境界線が異なっているのはなぜ？	回覧は用地買収予定範囲を示したものであり、土浦第五中学校から取り込む部分は含まれておりません。 土浦第五中学校は、学級数から算出される基準面積を超過しているため、中学校と協議し、一部を小学校用地に含めて活用することからゾーニングに含めております。
8	ゾーニング例1は、統合小学校と五中のグラウンドが並んでいることで、五中の教室から小学校のグラウンドで運動会の練習等を行っている様子や、音楽等の騒音が気になり学業に集中できないと思います。よってゾーニング例2の方が良い。	設計の際には学校の意見を聞きながら配置を検討いたします。
9	ゾーニング例2は、統合小学校グラウンドと小学校校舎に距離があり、児童の様子が把握しにくいのでは？また、公民館を隣に移設して小学校正門を広くしスクールバスが回転しやすいようにした方が良い。	スクールバスの運行に支障のないように令和4年度からの設計の中で配置等を検討してまいります。
10	統合小学校の事業規模としては、新治学園と同等の規模になり、統合小学校に隣接する五中を合わせれば、約1000名近くになります。敷地面積等で考えれば、分離型の為2倍以上必要になると考えられるが、統合の前と後でそれぞれの敷地面積を数値で比較してほしい。	学校用地の面積については、学級数より算出する基準面積があります。土浦第五中学校については、基準面積は24,059㎡ですが33,704㎡あるため超過しています。この超過面積の一部を小学校用地にする予定です。統合小学校の開校時の学級数から算出される基準面積は24,562㎡となります。概ね基準面積となるように計画しております。なお、現在の上大津東小学校の面積は12,367㎡ですので、統合小学校の計画面積は概ね2倍の広さになります。
11	統合小学校と隣接したことにより、現五中の敷地面積が減っているが、具体的に数値で示してほしい。 また、それぞれの児童生徒の専有面積は新旧で比較するとどのように変化しているのか？	前述のとおり
12	高低差のあるサブグラウンドは大雨時に冠水する恐れはないのか？	通常のグラウンドでも冠水するような集中豪雨時を除き、冠水しないような排水計画といたします。

13	プール改修工事を行わず廃止とし、なぜ新治学園と同様に外部施設を利用しないのか？	児童生徒の水泳指導について、市内の民間施設に受け入れを打診しておりますが、新治学園以外は生徒数が多いこともあり、現時点では受け入れが難しい状況ですので、引き続き検討してまいります。
14	五中のテニスコートが4面から2面となり、バレーコートがなくなっているように見えるが誰が承諾しているのか？配置ゾーンの計画ミスか？ミスであれば現状のままで、プールをなくして駐車場にすれば良い。新治学園の後期課程約150名でコート2面、五中は約450名でコート4面である。	土浦第五中学校は、基準面積を超過しているため、一部を小学校用地に編入する計画としております。 中学校と協議し、グラウンドや舗装された駐車場及び駐輪場部分は現状を維持し、最も支障が少ないと思われる部分を編入することとしております。
15	駐車場に関して、五中の現状の駐車台数を確認して計画しているのか。統合小学校の職員及び来客者駐車場は何台確保しているのか？公民館を複合化した場合の来客者駐車場との関係はどのように考えているのか？	公民館利用者については、現行と同程度の駐車台数を確保したいと考えております。来賓用についても教職員と協議しながら必要台数を確保してまいります。 なお、教職員の駐車台数は可能な限り確保することとし、必要な場合は借地等についても学校と検討してまいります。
16	統合小学校と中学校の境界線をフェンス等でハッキリさせないと管理上問題になる。	小中一貫教育の実施にあたり、隣接型のメリットを活かすためにも構造物は設けず、地表面の仕上げ等で境界線の位置は明確にすることといたします。
17	スクールバスの乗降を考慮した配置になっているか不明	配慮してまいります。
18	公民館を複合化する方向で進んでいるようだが、場所を現在の上大津地区の中心にこだわらずに、上西小跡地を有効利用し、新築した方が自由度があると思う。複合化するに当たっては敷地が狭いと感じる。	公民館の方向性については、上大津公民館運営委員の方々から意見を伺いながら検討しております。 また、公共施設等総合管理計画に基づき、市の施設を複合・集約化する方向であること及び公民館単独の新築には国の有効な補助がないことから新築は困難であると思われま。
19	体育館の空調に関しては、国のエコスクール補助金を利用して、屋根にソーラーパネルを設置し空調の電力とすれば良いのでは？空調設備状況は、小学校中学校（体育館）全国で設置率5.3%、茨城県は0.8%である。	ソーラーパネルは環境教育のために多くの学校に設置しておりますが、体育館の空調に必要な電力をすべて確保することは困難であり、ライフサイクルコストを考慮して、今後の検討とさせていただきます。
20	普通教室の広さはどのような基準で決まったのか具体的な説明が欲しい。従来の広さとの比較。タブレット機器の収納及びモニターの設置を考慮しているのか？ソーシャルディスタンスの基準は何m？	文部科学省が2021年7月16日に公表した「新しい時代の学びを実現する学校施設の在り方について有識者会議による中間報告」を基に従来の64㎡ではなく72㎡で計画しています。この資料の中で、ソーシャルディスタンスの例として1mが示されております。
21	学習机は旧JIS規格から1999年の新JIS規格を採用するといっているが、この規格はタブレット端末を置くことを考慮したものではないため、「GIGAスクール構想」による1人1台端末による机の面積がさらに窮屈になってしまう問題を解決する必要がある。その対策案として、既存の机に取り付け可能なアイテムの採用を提案する。これに伴い、机の寸法が大きくなるため、机前後の通路幅が狭くなってしまふ。よって教室広さを再検証する必要がある。	文部科学省が2021年7月16日に公表した「新しい時代の学びを実現する学校施設の在り方について有識者会議による中間報告」の資料に64㎡の教室に新JIS規格の机の中心間の距離を最低1m以上確保する配置例が示されております。今回はこれよりも広い72㎡で計画しているため、机は収まりますが、オープンスペースの活用も含めてより良い学習環境の整備を検討してまいります。ご提案については参考にさせていただきます。
22	新しい教室をイメージするにあたっては、まず新治学園に勤務する先生や児童から現状の問題点を出してもらい、視察する先生方にはベテランと若手の先生を選出してもらいたい。	視察については、今後計画してまいります。
23	保健室は、コロナ禍においては隔離用として2部屋準備した方が良いと思う。	国庫補助基準面積を考慮しつつ、隔離用のスペースを設けることを検討させていただきます。
24	上東小児童は全てスクールバスを適用とする。	現在のスクールバスの規定に基づき、教育委員会内で検討してまいります。
25	バスの集合場所	開校準備協議会の検討部会の中で、保護者の意見を基に調整してまいります。

26	<p>統合後、中学校では各学年160人、小学校では80～90人の児童生徒が在籍することになると予想されます。プールを段差設置にした場合、6レーンの内の何レーンかが有って無いような状態になってしまうため、待ち時間が多くなり、子どもたちの活動量が大幅に減ってしまうこととなります。</p>	<p>他市の事例では、小学校のプール（水深約70cm）と中学校のプール（水深約90cm）で水深は20cm程度しか変わらないため、中学生の授業については飛び込み等を除き全レーン使用できると思われる。小学生については、児童の身長や指導内容に合わせて柔軟に運用していただくことで活動量を維持していくことも可能と思われます。</p>
27	<p>水泳学習が可能な時期は限られているので、各学年でトータル10時間程度の授業を実施するとすると計画に無理が生じてくると思います。</p>	<p>学級数からシミュレーションしたところ、学習時間は確保可能と思われますが、水温次第で学習時間が確保できなくなる恐れもあることから、他のプールも活用できるようにする等の対応を検討してまいります。</p>
28	<p>「中学校と隣接した特徴を生かし、キャリア教育の充実や異年齢交流の促進等、施設分離型小中一貫校として小中一貫教育を効果的に実現できる学校」の文言に違和感を覚えます。菅谷小、上東小に加え、神立小の3校が統合した学校であれば十分納得できる文言と考えます。しかし実際は、菅谷小と上東小の2校の統合であり、神立小は現状のままです。小中一貫教育を推進していく場合、新小学校および神立小と五中の3校で連携をとっていくこととなります。この文言を強調すればするほど、神立小を無視しているような感覚を覚えます。なので、隣接した場所に設置することにより、新小学校はもちろん、少し離れた神立小にもこんなメリットがあり、よって、効果的に小中一貫教育が実現できる、となるような文言がふさわしいかと考えます。新小学校のコンセプトが、後に五中に入学者の神立小の現状とのずれが大きいと小中一貫教育が困難な感じがします。新小学校のあり方は、今後の神立小のあり方と連携させていく必要があるのではないかと。</p>	<p>ご指摘のコンセプトについては、新校舎整備というハード面の計画コンセプトとなっております。ソフト面としての小中一貫教育については、これまでどおり対面やオンラインなど、目的や狙いに応じた方式で、どの学校も等しく小中一貫教育を受けられるように努めてまいります。</p>
29	<p>教室サイズについて  <ul style="list-style-type: none"> <li>・「資料2 2ページ」の図よりさらに1mずつ横幅、縦幅を広く</li> <li>・ロッカーサイズを大きく、かつ一人二つ以上のロッカーを用意</li> </ul> </p>	<p>・学校の面積については、文科省の補助を受けるにあたり、学級数から算出される基準面積がございませぬ。ご意見を踏まえて、オープンスペースとのバランス等も考慮し、基準面積の中で適切なモジュールを検討してまいります。  <ul style="list-style-type: none"> <li>・ご意見を踏まえて、次年度からの設計の条件設定を検討してまいります。</li> </ul> </p>
30	<p>特別支援の設置場所          特別支援学級は、校舎内の遠く隔離された場所ではなく、静かでありつつも交流学級への導線が短い場所へ</p>	<p>ご意見を踏まえて、次年度からの設計の条件設定を検討してまいります。</p>
31	<p>職員室の場所          上大津東小では、職員室は1階にあり、職員室にしながら休み時間の看護ができる利点があります。特に、本校では職員数がぎりぎりのところで運営していることもあり、職員室の電話番と休み時間の看護を両方になわなければならない場面があるため、1階に職員室があることが大変効果的であると考えています。また、来校者にすぐ気がつくことができ、外に向いて対応することができるのも、防犯上、およびコロナ禍において校舎外で対応することの利点を鑑みると、やはり1階の設置が望ましいかと思ひます。もっとも、上記は、上大津東小のように校舎規模が小さい学校ならではの考えかもしれませんが、ご考慮の一つに加えていただくと幸いです。</p>	<p>ご意見を踏まえて、次年度からの設計の条件設定を検討してまいります。</p>
32	<p>校舎とグラウンドが平行になっていることが多いと思うが、図を見たときには違和感がある。</p>	<p>グラウンドに表現している200mトラックについては、広さをイメージするためのものとなっておりますので、設計の際にはご意見を参考にさせていただきます。</p>

33	子供たちが休み時間に遊びやすくするには、昇降口からグラウンドの端までは近い方が良い。	ご意見を踏まえて、次年度からの設計の条件設定を検討してまいります。
34	現在までに施工された大規模改造工事やトイレの改修など、建設された時には想定されていなかった生活環境の変化により改修せざるを得ない状況になっている。将来的にはどうなるのかわからないが、今、建設にあたって問題になっていることについては十分にかつ慎重に検討を加え、子供たちの教育環境にしわ寄せがいくことのないようにしていただきたい。	ご意見を踏まえて、令和4年度か令和6年度の期間中に常に最新の情報を入手することを心掛けて設計を進めてまいります。
35	児童クラブを使う児童数を予測することは難しいと思うが、後から増設の必要性が出てくることも想定した設計をお願いします。	児童クラブに利用する室数の増減に対応可能な計画といたします。
36	地形、環境を生かしたサブグラウンドの活用と管理については、現場の先生の声聞いてほしい。	サブグラウンドは低学年用の広場を想定しておりますが、ご意見を踏まえて、教職員のご意見を伺いながら計画いたします。